

化学物質の安全管理に関するシンポジウム

化学物質のリスク評価の最新動向と今後の課題

【日時】平成26年2月21日（金）13:00～17:30（受付開始：12:00）

【場所】中央合同庁舎第4号館2階共用220会議室（千代田区霞が関3-1-1）

【定員】250名

【参加費】無料

【共催】内閣府総合科学技術会議、厚生労働省、経済産業省、国土交通省、環境省、独立行政法人製品評価技術基盤機構、独立行政法人産業技術総合研究所、独立行政法人国立環境研究所

【後援】独立行政法人土木研究所

参加申し込み方法

聴講を希望される場合は、下記のホームページからお申し込みください。（先着）

<http://www.safe.nite.go.jp/sympo201402/index.html>

※参加は、原則として事前に申し込みを受けた方のうち、先着順にて当方から「登録を受けた」旨のメールを返信した方とさせていただきます。（申込締め切り：平成26年2月7日）

シンポジウムに関するお問い合わせ先

内閣府 政策統括官（科学技術政策担当）付
参事官（グリーンイノベーション担当）付 梶田、西内

電話：03-3581-9265

参加申込みに関するお問い合わせ先

独立行政法人製品評価技術基盤機構
化学物質管理センター 計画課 藤原、塩谷

電話：03-3481-1977

会場アクセス



●所在地

〒100-8970 東京都千代田区霞が関3-1-1

TEL 03-5253-2111(大代表)

【地下鉄】

- 東京メトロ 千代田線「国会議事堂前」駅下車 4番出口より徒歩5分
- 東京メトロ 丸ノ内線・千代田線・日比谷線「霞ヶ関」駅下車 A13出口より徒歩6分
- 銀座線「虎ノ門」駅下車 6番出口より徒歩6分

趣旨

人間社会及び自然環境に対する化学物質のトータルリスク最小化は不可避の課題であり、開発から製造、物流、使用、消費を経て廃棄にいたるライフサイクル全体にわたる化学物質の適正管理が求められている。

本シンポジウムは、化学物質のリスク評価・管理に関して、各府省・各機関での研究開発課題について、とくに現実の問題や政策での活用に焦点を当てて、成果、取り組み、今後の課題の情報を共有し、かつ研究者・技術者、企業・行政担当者のみならず、一般市民へも広く情報提供することを目的とする。

プログラム（予定）

13:00～13:05	開会挨拶
13:05～13:25	実行委員長挨拶 化学物質の安全管理に関するシンポジウム実行委員会 委員長 安井 至

I 基調講演

13:25～14:10	「科学の信頼とは –福島事故の Communication 日・英の状況を手がかりに–」 日本科学技術ジャーナリスト会議会長、元読売新聞社編集委員 小出重幸
-------------	---

II 各研究機関成果発表

14:10～14:55	「Perce llome トキシコゲノミクスの実用に向けての進捗」 国立医薬品食品衛生研究所 安全性生物試験研究センター 毒性部 部長 菅野純
14:55～15:05	休憩
15:05～15:50	「生態リスク評価の最新動向と今後の課題」 独立行政法人国立環境研究所 環境リスク研究センター 環境リスク研究推進室 主任研究員 鏑迫典久
15:50～16:35	「製品含有化学物質のリスク評価」 独立行政法人製品評価技術基盤機構 化学物質管理センター リスク評価課 主任 光崎純
16:35～17:20	「消費者製品からの化学物質暴露を評価するツールの開発」 独立行政法人産業技術総合研究所 安全科学研究部門 環境暴露モデリンググループ 研究グループ長 東野晴行
17:20～17:25	閉会挨拶
17:25～17:30	事務連絡